



HOPPY team TSUCHIYA
レースリポート
2025 SUPER GT Rd.7 AUTOPOLIS

日時	2025年10月18日 予選	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	AUTOPOLIS（大分県）	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	Q1:佐藤公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 Q1.A組11位（Q1敗退）

2025 も九州・大分での戦いに突入！上位進出を目指す！

戦いの舞台は九州・大分へ。オートポリスは 2017 年に優勝しているゲンの良いサーキット。コースレイアウトもホピ子に向いているとあって武士監督以下期待が高まる。久しぶりの上位入賞を目指す戦いをリポートする。

秋らしい爽やかな空気が包んだ土曜日の朝。空気は乾いているものの、気温は 20 度を超えて過ごしやすい気候となった。サーキットへ向かう途中、阿蘇の山道を抜ける窓外にはススキも心地良さそうに揺れていた。

▼公式練習＜GT300 12 位 1 分 46 秒 008＞

今シーズンも残り 2 戦。上位入賞を現実的に視野に捉え、オートポリスでの走行がスタート。フリー走行は松井孝允選手からスタート。4 周目に 1:46.913 を記録。その後 13 周目に佐藤公哉選手にドライバーチェンジ。その後何度かドライバー交代を経て、セッション残り時間が残り僅かになった 38 周目。佐藤選手がタイムアタックを敢行。セクター1、セクター2 と自己ベストを出し、セクター3 へ。しかし最終コーナー手前で 2 台に引っかかってしまいタイムロス。それでも 1:46.008 で 12 位。予選に期待が膨らむフリーの結果となった。

▼公式予選＜GT300 Q1 A 組 11 位 1 分 45 秒 352(Q1 敗退)＞

予選に向け意気上がるなか、開始直前にパラパラと雨が。チームは慌ただしくウェットタイヤを準備。しかしすぐに小降りに。スリックか、ウェットか。空と雨雲レーダーを睨みながらの難しいオペレーションとなった。雨がほぼ止んだのを確認してマシンの 4 輪にスリックタイヤを装着。いよいよ予選が始まる。

Q1 の担当は佐藤選手。コースインして 1 周、2 周とタイヤを温め、3 周目にタイムアタック。1:45.352 で 9 位につける。そのまま 4 周目も連続アタック。後続がタイムを上げ 11 位に後退。4 周目、セクター1 は自己ベスト。セクター2 は自己ベスト更新ならず。セクター3 でタイムアップなるか息を飲む。そこへ炎をあげる BRZ の映像が飛び込んでくる。オイルを路面にこぼしながらスローダウン。そのままランオフエリアにマシンを停めた。これでイエローフラッグ。佐藤選手のアタックはアクシデントに阻まれる形になった。

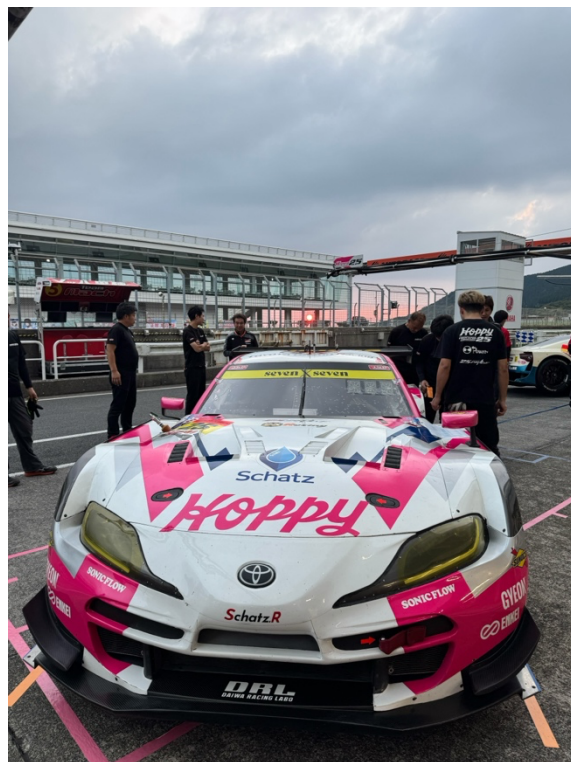
結果 Q1A 組 11 位。残念ながら Q2 進出ならず。Q1 通過ラインの 9 位との差は僅か 0.06 秒。悔しさの残る予選となった。

しかしチームスタッフ一同大きな手応えを掴んだ土曜日。日曜日、3 時間レースでの巻き返しを誓う。

▼土屋武士監督コメント

Q. フリー走行からマシンに手応えを感じていた？

A. 予選は残念ながら Q1 敗退でしたが、2022 年からクルマを作り始めて、初めてセットアップが決まったな、いいところに来たな、



非常に乗りやすい車になったな、という状況です。フリー走行が終わって 12 位でしたが、（アタック中に遅いクルマに）引っかかってしまっただけで、一桁順位は普通にいけるな、と予選に期待していました。雨が降ってきましたが、クルマは殆ど何もいじらず、普段なら予選仕様ということでダンパー 1 ノッチ硬くするんですけど、濡れているのでそれをやらずに予選に行って、雨にも対応できるようにしました。雨が降ったり止んだりの中、降ってくると思ったら降ってきませんでした。雨に備えてタイヤの内圧も上げていて、アタックを早めに行けるようにということでは、（他車のアクシデントで）イエローが出る前にアタックができて良かったんですが、残念ながら 6/100 秒足りませんでした。雨が降らなかったで届かなかったんですけど、ダンパー 1 ノッチ硬くしていれば 6/100 秒は全然超えられたので、その悔しさはあります。ただ、天気のことなので、味方をしてくれなかったということでは仕方がないんですが、それでも予選を通るクルマじゃなかったという部分があるんで、もっともっとポテンシャルを上げていかないといけないという課題が残ったかな、と受けとめています。まあ、約 4 年間クルマを作ってきて初めてドライバー二人から揃って「乗り易い」と聞こえてきたので、それは励みになります。あと明日の決勝と茂木の最終戦しか残ってないんですけど、さらにこれをインブルーブさせていけるのではないかと考えているので、明日は楽しみです！明日は 3 時間レースなので、粘り強く、ただ、戦う準備としては決勝のセットアップもロングランの確認もできているので、戦いに行きたいと思います！



▽松井孝允選手コメント

Q. フリー走行で手応えを感じていた？

A. 今までよりは可能性を感じる練習走行だったんで、タイヤも僕たちにマッチしてたというのを感じましたし、その中で明日の決勝に向けてもいい車を作れているので、さらにトップを取るには足りないというの間違いなので、明日のウォームアップで試せることがあるので、さらにワンステップ登るためには必要なことなので、もがいて、一つでも前に、ということをやっていききたいと思います。

Q. 良くなってきた中で、結果が欲しい？

A. 結果を出さないと僕たちスポーツ選手は、非常に厳しく評価されると思うので、応援してくださる皆さんがいて、結果が出て初めて僕たちのいる意味があると思うので、そういう意味ではとにかく明日は結果にフォーカスしていきたいと思います。

Q. 明日への決意を

A. 今シーズンは 1 ポイントは取れてるんですけど、なかなかポイントに絡めるレースというのがなかったんで、そういう意味では明日は非常にチャンスがあるレースだと思っているので、油断することなく、一つでも前にいきたいと思いますので、応援よろしくお願いします！

▽佐藤公哉選手コメント

Q. フリー走行から良い感触だったのでは？

A. フリー走行から雰囲気良くて、流れも良さそうな感じでした。自分にボタンタッチした後も主に長距離のチェックを行いました、感触的にはそんなに悪くないと思います。予選 Q1 も任せていただいて、車の雰囲気も今年一番いいなと思いました。ただ、予選が、そこまでの感触が良かっただけに、残念な結果でした。自分的にはちょっと情けない予選でした。あとコンマ数秒というところだったと思うんですけど（6/100 秒差）、今 GT300 みんなギリギリの戦いをしていの中で、そこで（予選を）通れる人と通れない人の決定的な差があると思います。その辺は自分の大きな課題として、どんな状況であれ、通るやつは通ると思うんで、そこを重く受け止めて、ここのところ情けないな自分でも思うところがあるので、なんとかしないといけないと思っています。

Q. 明日に向けて

A. 明日はまずはアクシデントに巻き込まれずに、チャンスは必ずくると思うので、強いレースをしてポイントをゲットして、さらに上を目

指していくという形で、いい流れで来ていると思うので、力を合わせて頑張りたいと思います！

【お知らせ】

今年度からチームの広報を担当している豊原が開設した YouTube チャンネル「INFINITY MOMENT」にて、「戦う町工場の挑戦」と題し、土屋武士監督のインタビューを全③回に渡って公開しています。

ご支援いただいている皆様におかれましては是非ご覧いただき、チャンネル登録のほど、よろしくお願いいたします。



「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編③ | INFINITY...



「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編② | INFINITY...



「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編① | INFINITY...

[「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編①](#) : 手作りレーシングカーでフェラーリに挑む!?

[「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編②](#) : チーム解散、職人魂で復活王者へ

[「戦う町工場」ドライバー × エンジニア #土屋武士 編③](#) : レース業界の経営者も悩んでる!?

◎つちやエンジニアリングの YouTube チャンネル「つちやエンジニアリング_sub_ch」もございます。

こちらも是非、チャンネル登録のほど、よろしくお願いいたします。

URL https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原